



海のたより



応急手当講座実地訓練風景
3班に分かれて
皆さん真剣な眼差し
傍観者でなく応援者になろう

目 次		行 事 予 定
表 紙	応急手当講座実地訓練	3月15日 MCCウォーミングアップレース
P 2	役員会報告ほか	4月12日 JSAF三河湾周遊レース
P 3	2009年度MCCレース要領	幡豆 野島 衣浦
P 4	レース規則改正について	4月19日 MCC4月ポイントレース
P 5	会員艇の紹介「百恵」	5月03日 JSAF五ヶ所湾合同レース
P 6	会費納入のお願いほか	蒲郡 沖の瀬 五ヶ所湾
		5月04日 MCC鳥羽クルージング

MCC役員会報告

総務委員長 近藤

2月15日(日) 今年第一回目のMCC役員会が海陽ヨットハーバー2階会議室で開催されました。出席者は中村会長始めオブザーバーを含め15名、まず、北河会計から別紙会計報告があり承認されました。その後、今年のレース日程とレースコミッティーを決めました。

- レースは基本的には昨年並み、JSAFレース日程とはできるだけバッティングさせない中で検討されました。
- 3月15日はウォーミングアップレースを実施する。
- 7月オーバーナイトレースコースを逆回りにする、開催日を第二日曜日に変更する。
- 9月佐久島レースは2コースを作り天候により選択する等の変更を決めました。
- 他にはレーティングの変更を検討しラグーナ、MCC共用の独自方式を作成する予定です。



5月の合同クルージングには答志島が候補に上がりましたが、今後つめませんが是非多数の参加をお待ちします。他にはヨット人口の裾野を広げたくヨット体験乗船を企画します。海の日、蒲郡マリンカップ、理事長杯レースに体験希望者を募集する予定です。みなさんの協力により成功させたいと思います、よろしくお願いいたします。

応急手当講座報告

広報担当 中村

2月15日海陽ハーバーで応急手当講習会が開催されました。当日は蒲郡消防署から3名の指導員が来所、丁寧にご指導いただきました。まずは模型や人形を使って救急の基本、指導員の実技指導を教えてくださいながら3班に分かれ会議室一杯に広がり個別指導を受けました。



- 1、傷病者がいたら反応を確認する。
- 2、反応が無いなら大声で人を呼ぶ、119番、AED
- 3、気道確保、普段どおりの呼吸が無ければ人工呼吸を2回行う(汚れ、異性・・・口移し人工呼吸等戸惑うなら無理に行わなくても良い)
- 4、**心臓マッサージを行う(人工呼吸よりこちらが大事)**
マッサージ30回、人工呼吸2回、マッサージ30回、
.....これを繰り返す
- 5、AEDが到着したら電源を入れ、音声指示に従い操作

救急車は平均6分で到着するそうです
心臓停止3分で脳細胞が死に始め5分では.....
救急隊が到着する前の応急手当が如何に大切か
適切な応急手当の知識を得、多くの人が応急手当できるようになってほしいそうです。

心臓マッサージの連続動作はキツイ作業です、**お互い傍観者にならず応援者になりましょう。**

新レース委員あいさつ

2月というのに暖かい日が続きますね、会員の皆様は春のシーズンに向けての愛艇の整備は進んでいますか。私たちは今年度レース委員になりました「ベベ」の都築と「ウラナミ」の中村です。二人ともレース委員は初めてのことで色々至らないことが多々あると思いますが、中村会長はじめ鳥居前レース委員長等のご指導をいただきながら精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

2009年度 三河湾クルージングクラブレース要領

2009.2.15 MCCレース委員会

	-	前 期				後 期						
レース名	ウォーミングアップレース	4月ポイント	春のチャリティウォッチ	MCCカップ(早朝)	三河湾周航(ナット)	理事長杯	佐久島(早朝)	秋のチャリティウォッチ	11月ポイント			
開催日	3月15日	4月19日	5月17日	6月21日	2009/7月/11,12日	8月30日	9月27日	10月25日	11月15日			
コース	当日指示	ラグーナレース 三角&ソーセージ (2レース)	三河湾合同レース 三角&ソーセージ (2レース)	S 小島(東) 豊橋潮流ブイ 梶島ブイ 豊橋潮流ブイ 小島(東) F	S 小島(東) 豊橋潮流ブイ 生田鼻ブイ 一色ブイ 野島(西) 豊橋潮流ブイ 小島(東) F	理事長杯	S 小島(東) 豊橋潮流ブイ 佐久島西 生田鼻ブイ 豊橋潮流ブイ 小島(東) F 当日コース変更あり	三河湾合同レース 三角&ソーセージ (2レース)	ラグーナレース 三角&ソーセージ (2レース)			
直線距離	-	-	-	19.3	38.4	-	28.5	-	-			
スタート	11:00	10:30	10:30	7:00	23:00	別途指示	7:00	10:30	10:30			
タイムリミット	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00		15:00	15:00	15:00			
出艇申告	艇長会議前	艇長会議前	艇長会議前	艇長会議前	艇長会議前		艇長会議前	艇長会議前	艇長会議前			
艇長会議	10:00	9:00	9:00	6:00	22:00		6:00	9:00	9:00			
帆走委員長	レース委員会	ベベ 水藤	ルードリス 菱田	オデッセイ 伊勢谷	ダンシングピーンズ 安田	海陽ハーバー	アルミス 稲垣	うらなみ 近藤	ホーネット 中村			
出艇料	ナシ	会員艇は、5000円 非会員艇は、6000円(懇親パーティー不参加は5000円)										
要領補足	<p>1. 上記レースの実施要領詳細は、艇長会議にて帆走委員長が指示する。なお、コミッティー担当は、スタート10分遅れで参加できるものとする。</p> <p>2. 年間成績は、出場レースの内上位7レースの合計得点とする。なお、MCC非会員艇は、得点の対象としない。</p> <p>3. 各レースの得点は、1位を20点とし、以下は順位が下がる毎に1点ずつ減じる。ただし、11位以下は、全て10点とする。また、1位には、1/4点を加算する。 *OCS・DNFの得点は、10点とする。*DNC・DNS・RET・DSQの得点は、8点とする。*コミッティー担当で出艇しない時は、4位の得点を与える。 *チャンピオンシップとポイントレースは、2レースの総合成績による。(同順位、同得点有り)*修正時間システムは、MCC独自ルールによる。</p> <p>4. 競技規則違反に対する抗議は、抗議書に抗議料(1000円)を添えて帆走委員長に申告すること。(抗議成立の場合は、抗議料を返還する。)</p> <p>5. レースに参加する艇は、小型船舶安全検査合格艇であること。適用規則は、このレース要領、RRSおよび帆走指示書とする。</p> <p>6. 各レースの帆走の安全については、各艇長の責任において充分注意し、事故防止に努めること。</p> <p>7. レース終了後、15時頃から蒲郡荘にて懇親パーティーおよび表彰を実施する。</p> <p>8. 優勝艇は、レース記事を提出すること。(遅くとも1週間以内に会報担当:中村(ホーネット)に送付のこと。)</p> <p>9. コミッティーには、2000円の弁当料を支給し懇親パーティー費と相殺する。</p> <p>10. レース委員会は、レース委員長:都築(ベベ)、各レース帆走委員長で構成する。</p> <p>11. チャンピオンシップとポイントレースは他クラブとの共同開催とし、MCCはコミッティーを応援する。</p>											
その他行事	MCC・ヨットハーバー行事日程					JSAF・その他レース日程						
	4月19日(日)	:バーベキューパーティー(レース終了MCC)	蒲郡荘	4月12日(日)	:三河湾周遊レース(幡豆-衣浦)	JSAF	5月 日(別途連絡)	:鳥羽クルージング	MCC	5月 3日(祝)	:五ヶ所湾合同レース(蒲郡-沖の瀬-神島西-五ヶ所)	JSAF/OP
	7月19日(日)	:海の日・体験乗船	蒲郡市民マリン広場	5月24日(日)	:エリカカップ(ラグーナ沖)	JSAF/OP	7月26日(日)	:蒲郡花火大会観賞	竹島沖	6月21日(日)	:伊勢湾合同レース(河芸-四日市)	JSAF/OP
	8月 2日(日)	:蒲郡マリンカップヨットレース	蒲郡沖	7月24-26日	:鳥羽パールレース(五ヶ所-江ノ島)	JSAF	10月18日(日)	:みやまつり 海中渡御観賞	三谷海岸	9月20日(日)	:伊勢湾マリンカップ(河芸沖)	JSAF
	10月18日(日)	:総会・表彰式・年末パーティー	MCC 蒲郡荘	10月10日(土)	:東海チャリティウォッチ(ラグーナ沖)	JSAF	12月12日(土)	:スモールクルーザース	:4/26,5/17,6/28,7/19,8/30,9/20,10/25,11/22	10月10日(土)	:東海チャリティウォッチ(ラグーナ沖)	JSAF
										10月11日(日)	:東海チャリティウォッチ & デニスカップ(ラグーナ)	JSAF/OP
										10月17日(土)	:東海チャリティウォッチ & 三河湾周遊(蒲郡-沖)	JSAF
										10月18日(日)	:東海チャリティウォッチ(幡豆沖)	JSAF

R R S (2009 - 2012)、レース規則が改正されました、 4月1日からは新しいルールが適用されます。

セーリング競技規則 (R R S) は 4 年に一回、オリンピックの翌年に改定されます。

今回の改定で最も際立って戦術に影響を与える点は、第 2 章 C 節「マークおよび障害物において」です。従来の C 節は、規則 18 の「マークと障害物の通過と回航」と、規則 19 の「障害物においてタックするためのルーム」の 2 項目で構成されていました。新ルールでは、規則 18 の「マークルーム」、規則 19 の「障害物を通過するためのルーム」、規則 20 の「障害物においてタックするためのルーム」になり、三つのケースに分けてかかれています。なお、C 節の規則が A 節の「航路権」、B 節の「一般原則」と矛盾する場合は C 節を優先していましたが、これからは A 節や B 節も併用されます。

複雑に戦術が展開されるマークに対し、障害物では戦術よりも安全、といったセーラーの競技における実情に合わせた改定です。

また、「2 艇身ゾーン」は 3 艇身の「ゾーン」に変わりました。さらに帆走指示書で 4 艇身に変更されることもあります。他にも、定義「障害物」の変更や旧規則 17.2 の削除はセーラーの戦術を変えるでしょう。一方で、新定義「マークルーム」や「フェッチング」の導入などにより、セーラーの持っていた疑問に答える「理解しやすい」新 R R S となっています。(詳細はルールブック、舵誌 3 月号 P 1 3 5 解説参照)

新定義「ゾーン」

(旧 2 艇身ゾーンの変更)

マークに近い方の艇の 3 艇身の距離で囲まれた、マーク周囲の区域を、ゾーンという。艇体の一部がゾーンに入っている場合、その艇は、ゾーンの中にいるという。

新定義「マークルーム」

艇がマークへ帆走するためのルーム、その後マーク回航中にプロパー・コースを帆走するためのルームをマークルームという。ただし、マークルームを与える必要がある艇の風上かつ内側にオーバーラップした場合を除き、マークルームにはタックするためのルームを含まない。

(ゾーンの端からマークに近づくまでのルームとマーク回航中にプロパー・コースを走るためのルームに分けて定義)

新定義「フェッチング」

艇がタックを変更することなくマークの風上をその定められた側で通過できるコース上の位置に入る場合、艇はマークをフェッチングしているという。

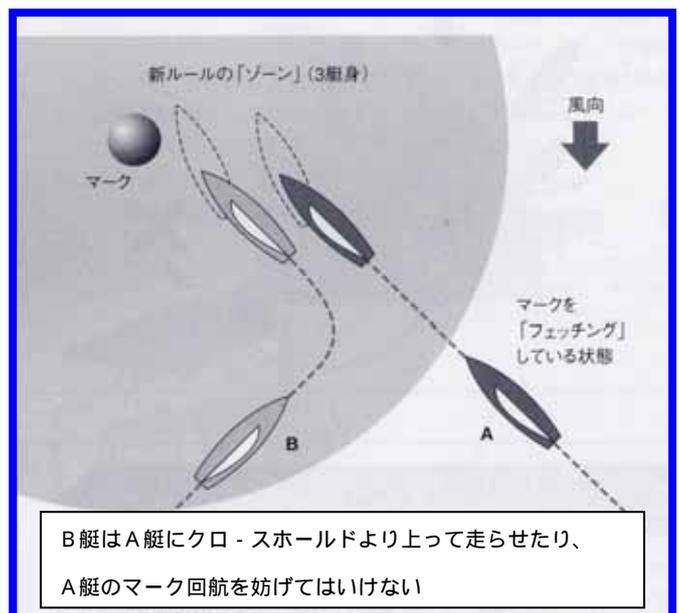
(タッキングしないでマークを回れる状態なら、マークから離れていても「フェッチング」しているという。)

規則 18.3 マークに近づく場合のタッキング

反対タックの 2 艇がマークに近づいており、そのうちの 1 艇はマークをフェッチングしており、もう一方の艇がタックを変更し、結果的にゾーン内で規則 13(タッキング中)に従わなければならない場合には、それ以降規則 18.2(マークルームを与えること)は適用しない。タックを変更した艇は

(a) 相手艇に自艇を回避するためクロスホールドより風上を帆走させたり、または相手艇が定められた側でマークを通過するのを妨げたりしてはならない。

(b) 相手艇が自艇の内側にオーバーラップした場合には、マークルームを与えなければならない。



会員艇の紹介 「百恵」グループ

蒲郡市民マリン広場、旧蒲郡ヨットハーバー泊地に「百恵」グループを訪ね取材してきました。

「百恵」といえばMCC発足の頃から活動している皆さん、過去にはMCC行事委員長として活躍もいただきました。グループは1975年の発足、艇は昨年10月に25年間活動したハヤシ26からヤマハEX31(4代目)に乗換えました。一回り大きくなった艇はAVを充実させ陸電も引かれワンルームマンション並み、従来から毎週日曜日にはグループ員が集まりますが、乗換え後は出席率が上がったそうです。当日は7人のオーナーからお話をいただきました。



新百恵にて左から杉浦代表、竹内氏、加藤氏、前列は野田氏、他のオーナーはどこに??
まだ艇名表示が無い



名前の由来はご存知百恵ちゃん、まだ新人の頃からの百恵ファン、売れ出す前のサイン色紙をお持ちだそうです。

代表オーナーが一番若手、今回からオーナーに加入した杉浦氏。他には榊原、野田、竹内、井上、壁谷、加藤、三浦、坂本、千賀各氏の10名がグループオーナー。メンバーは多士済済、和太鼓グループ「響」創始者、アマチュア無線リーダー、1級建築士を始め1級のつく管理士や技能士、建築関連技術者集団でもあります。

ボランティア活動には以前から積極的に協力しており「ひと・人・ヒト」で知った障害者支援活動、百恵グループだけで年1,2回の障害者の体験乗船とバーベキューを継続しています。艇も一新しレース参加意識も高揚しているそうでエリカカップ、蒲郡マリンカップには活躍する予定です。



コックピットで取材、野田氏と杉浦氏



MCC 会費 納入のお願い

MCC 会計 北河

各艇の年会費、1艇 4000 円の納入をお願いします。

なお、未納分の精算等、**具体的な納入額は同封の納入資料**によりお願いします。

「請求金額」欄に記載した金額の納入をお願いいたします。

振込みをされる時、「送金人住所氏名」欄には、氏名の前に<艇名>をご記入ください。

郵便局、郵貯銀行での振替、払込

郵便貯金	通 帳 記 号	番 号
	1 2 1 4 0	5 6 3 4 6 8 0 1
口座名	三河湾クルージングクラブ 代表 中村 孝	

郵便貯金「ばるる総合口座」から郵便振替。(ATM扱いなら無料)

郵便局ATMによる現金払込。(3万円未満80円、手数料はご負担ください)

一般金融機関から振込

郵便貯金	店 番	預金種目
	2 1 8	普通預金
口座名	三河湾クルージングクラブ 代表 中村 孝	

手数料は取扱い金融機関により異なります、手数料はご負担ください。

MCC 第三日曜日レース他行事時にも受付いたします。



MCC 会報のお願い

現在、MCCではホームページを作成、運用しています、HPには最新の情報、毎月の会報等MCCの情報を掲示しています。皆さんから掲示板への投稿をお待ちしています。

HPについてご意見がありましたらぜひ、ホームページ委員(info@aichi-mcc.org)か中村(naka@aichi-mcc.org)へお願いします。

HPの中でMCCメーリングリストの募集をしています、代表者はもちろん仲間の皆さんの登録をお願いいたします。登録いただくと事務局からの大切な連絡事項や会員同士の連絡メールが届きます。

このサービスを充実させるため現在未登録艇は事務局で登録させていただきます、ご承知ください。

今回の会報はHP掲載の他に年1回の郵送をさせていただき、会員名簿も同封させていただきました。記載内容にミスがないか確認してください。ミスがありましたら中村へ連絡ください。

メール naka@aichi-mcc.org FAX 0533-57-4401 TEL 0533-57-4401

なお、会員名簿内容は会員相互の連絡用にのみ利用いただくようお願いいたします。

メールアドレス空欄の艇はぜひ、アドレスを中村へ連絡ください。

MCC 倉庫、貸棚に空きがあります。セール保管に最適です。

1年間、1万円、希望者は会計北河か中村に連絡ください。

春です、潮干狩りの季節です

毎年春先から蒲郡市内の海岸で楽しむことができる潮干狩り場、三谷(三河大島を含む)竹島、西浦(前ノ尻)海岸に今年から形原と西浦の海岸2カ所が新たに一般開放されます。

今回新たに潮干狩り場として一般開放されるのは、形原町の春日浦海岸と西浦町の松島の2カ所。春日浦海岸は、形原漁港大橋の北側に広がる干潟で、三河湾口の中山水道しゅんせつ土砂を入れて平成18年度に造成したもので今年から一般開放されます。

西浦では知柄漁港南側に加え、名鉄西浦マリーナ西の松島周辺が潮干狩り場として一般開放されます。西浦海岸と同じ岩場であるため、砂地の海岸とはひと味違った楽しみ方ができます。

潮干狩りの解禁は三谷海岸、三河大島、西浦海岸、松島、春日浦海岸が3月12日、竹島海岸が4月8日の予定です。



MCC海のたより3月号MCC海のたより3月号MCC海のたより3月号